

あの日から

1000日

東日本大震災から4日で1000日目を迎えた。被災地では、福島第一原発事故で復興が進められない福島県の沿岸部を除き、がれきや倒壊した建物が撤去され、災害に強い街づくりにむけた造成工事が進む。一方で、被害の大きさを伝える震災遺構の解体も進み、当時の記憶は失われつつある。



2011.4.14 震災直後の南三陸町防災対策庁舎。津波は高さ12メートルの庁舎屋上まで襲い、職員ら43人が犠牲になった

「朝日新聞」
10月4日付



大槌

2011.4.25 観光船「はまゆり」は点検中、400名流され民宿の屋根に乗り上げた



2013.11.14 船は解体されたが、防災教育の場として復元を求める声も上がっている



釜石

2011.3.28 土手から落ちたJR山田線の線路。鶴住居駅の駅舎も倒壊した



2013.11.14 山田線は運行再開の見込みが立たず、線路跡を雑草が覆っていた